

アイスホッケーは八戸市の田名部記念アリーナで開催。日本からは八戸市と三沢市の中学校の選抜チーム、韓国は全国一にも輝いた中東中学校のチームが参加した。

日本代表監督・大山貴弘さんは「韓国の選手たちは体も大きく、技術もある」と言う。日本チームは交流試合3連敗であったが、今回の試合での経験を生かし、韓国ではいい試合ができるよう誓っていた。

韓国チームの指導者・李鐘玖^{イジョンク}さんは「韓国ではアイスホッケーはまだメジャーとはいえないが、日本とともにアジア圏での人気を盛り上げていきたい」と語っていた。



熱戦を繰り広げる日本チームと韓国チーム



Ice hockey

韓国の選手たちはみんな身体がでかくて、最初はちよつと引いてしまったところがあつたけれど、試合数をこなすことで、次第について行けるようになったと思います。



宮崎真紘さん
(八戸市立第二中学校3年)



Speed skating

国対抗でタイムが競われた

スピードスケートは屋外にある八戸市バインクスケートリンク(長根リンク)で開催。日本からは青森だけでなく、岩手や山形、福島からも選手が参加した。

日本代表総監督・河村由美子さんは、韓国全土から選抜された選手たちの練習量の多さや、技術の確かさに舌を巻いたという。選手たちは片言の英語やジュエスチャーでコミュニケーションをとりながら、相手から技術を学んでいた。



畑中祐香さん
(八戸市立是川中学校3年)

スピード、技術、メンタルのどれもが相手の方が上で、世界のすごさを改めて実感しました。



根城知哉さん
(八戸市立根城中学校3年)

技術の高い韓国の選手と一緒に練習できたことが、自分にとつてとてもプラスになったと思います。